

予算決算特別委員会
9月25日・26日・27日
委員会付託案件審査

9月25日から27日の3日間、予算決算特別委員会において平成28年度一般会計歳入歳出決算をはじめとする認定案件10件と、平成29年度一般会計補正予算（第3号）及び観光施設事業特別会計補正予算（第1号）の予算案件2件について審査しました。

一般会計
歳入歳出決算

〔歳入〕

◆市税のひびく

問 市民税の収納状況は昨年度より伸びているが、実態をどう捉えているか。

答 法人企業の業績の回復等があつて、給与・営業・農業・公的年金等その他所得含む全ての区分で所得の増が見

られ、それらにより徴収率が伸びたと認識している。

問 固定資産税のうち、償却資産のみ申告が必要であるが、未申告者への対応は。

答 現地調査、情報提供により課税客体の把握に努めているほか、税務署の申告資料、課税台帳との突合で課税漏れ調査を行い申告の指導をしている。

問 商品軽自動車に対する軽自動車税課税の免除についての考えは。

答 県下の都市税務主管課長会議において、議題として取りあげた。県で調査し、県下統一の取り扱いが望ましいと考えている。

〔歳出〕

◆アドバイザーや政策顧問の活用について

問 政策顧問の具体的な実績は。

答 市長との定期的な意見交換を2か月に1回程度、アドバイザーとの調整また官公庁、経済界、市の関係団体と定期的に意見交換し、間接的な支援をしている。

問 政策顧問、大学連携アドバイザー、経済観光アドバイザーの雇用形態は。

答 雇用関係でなく、アドバイスを頂くことに対する報酬となる。内容により報酬も異なる。

◆自然エネルギーの普及・活用促進

問 ペレットの地元産の割合に変化はあったか。最終的にどこまでの割合を求めているのか。

答 市産材の割合は約27%。過半を占めるよう推移していければと考えている。

問 中間集積所「木の駅」、積まマイカーの課題は。

答 木の駅を1か所から7か所に拡大したが、木材を搬出される方の高齢化が集積についての課題と捉えている。

問 熱供給ビジネスのパイロット事業の成果は。

答 しぶきの湯は発電も給といふことで発電も併せて行っている。この仕組みで行っているのは日本初と認識している。桜花の湯は熱供給のみであるが、最新のボイラーを導入することで信頼性あるものとなっている。

問 しぶきの湯では系統連系により土日の売電を拒否される。民間に売電する検討は。

答 検討したが、課題が大きいことも認識している。

◆健康診査の実施状況

問 健康診査をどう分析し、次年度につなげるか。

答 がん検診後の精密検査を受けるよう指導していく。指導が必要な

方のフォローアップも実施していく。

問 一定年齢到達者のがん検診に係る自己負担金の無料化を実施されたが、その効果は。

答 受診率は伸びてきたと実感している。

問 平成27年度は39.5%だったが、平成28年度は。

答 40.6%であった。

◆森の仕事人養成事業

問 森の仕事人育成塾の事業実施スケジュールや募集のタイミングが悪くないか。

問 事業廃止における検

証・精査は。

答 就業以前に研修施設で技術を習得し就業するものであったが、就業しながら技術を習得したい方ばかりであった。就業していただき、就業先に支援する方向性が良いということで事業を廃止した。

◆飛騨高山ウルトラマラソン

問 課題と今後の取り組みについて。

答 受け入れの課題をクリアしながら、大会が継続されるよう取り組みむ。

◆空き家調査の結果

問 空き家調査による特定空き家数は。

答 調査で把握した空き家2,238棟のうち、特定空き家（適切に管